

ひとり親世帯の见えないSOS ～貧困の現状と、その構造的背景に迫る～

「子どもの貧困」が、大きくクローズアップされるようになりました。そのなかでも、ひとり親世帯の貧困問題は深刻です。本年度の東京社会福祉士会低所得者支援委員会公開講座では、ひとり親世帯の社会的・経済的困難に焦点を当てます。

経済格差の広がりとともに、日本のひとり親世帯の半分以上が相対的貧困にあると言われています。特に母子家庭は、就労率が高いにもかかわらず非正規労働が多く、さらに養育費の取得率は約2割にとどまり、仕事と子育ての両立は非常に困難な状況です。

平成26年、「子どもの貧困対策法」が施行されましたが、社会保障は不十分なままです。ひとり親世帯の貧困の現状と背後にある社会構造的な要因に迫りながら、社会福祉士として、地域社会の一員として、今、何ができるのかを考えます。

～～～プログラム～～～

「母子家庭のNPO支援の現場から」

NPO法人しんぐるまざあずふおーらむ 理事長 赤石 千衣子さん

「ひとり親世帯の貧困問題と社会構造」

法政大学大原社会問題研究所 教授 藤原 千沙さん

「ケースワーカーの現場から～ひとり親の貧困実態」

東京社会福祉士会低所得者支援委員会 委員 青木 尚人

参加型ディスカッション

事前に質疑用紙をお配りし、それをもとに参加者全員で意見交換を行います

【日時】平成29年2月25日(土) 13:30～17:30

【場所】早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館305教室

新宿区西早稲田1-6-1 <https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>
東西線早稲田駅より徒歩約5分

【定員】150名

【資料代】東京社会福祉士会会員・学生500円 一般1,000円

参加をご希望される方は、当会のメールアドレスまで下記の項目をご送信ください。tokyoteisyotoku@yahoo.co.jp

- ① 氏名 ② 会員番号(会員以外の方は不要) ③ 所属(勤務先)
④ 住所(勤務先か自宅かを明記) ⑤ 緊急連絡の可能な電話番号

※TCAP委員は氏名のみ可。

※万一定員に達していた場合は速やかにご連絡いたしますので、あらかじめご了承ください。

※会場内での撮影および録画・録音は固くお断りいたします。

「絵本から見る子どもの権利条約」イラスト展のお知らせ

早稲田大学人間科学学術院川名研究室開催によるスウェーデン画家チャーリー・ノーマン氏のイラスト展が、2/1～2/28(9:00～17:00)、7セダギャラリー(27号館B1)にて開催されます。

お時間のある方は、ぜひお立ち寄りくださいね！

公益社団法人 東京社会福祉士会
低所得者支援委員会

TOKYO COMMITTEE AGAINST POVERTY since 2013



TCAP広報委員
花キリンちゃん